

WAM 独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業

「貧困世帯の子どもの居場所作りと学習支援事業」

子ども若者の貧困を考えるシンポジウム

子どもたちの明るい未来を切り開くために、
私たちに何ができるのか。

今こそ、みんなで ぶっちゃけ本音トーク
あたたかい笑顔つながるシンポジウムです。

2017
3月12日
(日)
13:30~16:30

《プログラム》

- 1 講演 「ソーシャルワークから見た子ども若者の貧困と支援のあり方」
講師 若宮 邦彦 氏 (南九州大学准教授 社会福祉学)
- 2 2016年度 WAM 事業報告
濱門康三郎 氏 (一般社団法人みやざき公共・協働研究会理事)
- 3 井戸端会議 「つながりを求めて」
パネリスト 嶋田喜代子 氏 (宮崎市議会議員)
山元 絵美 氏 (スクールソーシャルワーカー)
富井 真紀 氏 (プレミアム親子食堂、宮崎こども商店代表)
司会進行 亀澤 克憲 氏 (NPO 法人みやざき教育支援協議会代表理事)

会場 宮崎県福祉総合センター本館セミナールーム 宮崎市原町2丁目22番地

対象 行政職員・教職員・各社協・支援団体・学生・NPO法人などで支援に関わって
いらっしゃる方、これから関わりたい方、興味のある方など、どなたでもOK!

会費 無 料

定員 50名 (定員になり次第、締め切ります)

主催 一般社団法人みやざき公共・協働研究会

共催 NPO法人みやざき教育支援協議会、(有)サングロウ、学遊館つねひさ

NPO法人宮崎県ボランティア協会、NPO法人宮崎21高齢者福祉研究会

お申込み・お問合せは、お電話・FAX・メールにてお願いします。


【TEL & FAX】 0985-41-4451 【メール】 info@npomesc.jp

受付 13:00~17:00



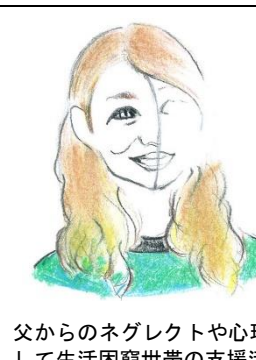

シンポジウム主旨

『子どもの貧困』新聞やテレビで最近よく耳にする言葉です。なんとなく気になってるけど、自分とは関係のないことと思っている方も多いのではないのでしょうか。でも、自分に続く糸を辿ってみると…。お金のために仕事をしなければいけない。忙しすぎる日々、子育てや自分を大切にしない暇がない。時間がないから自分で作らずに買っちゃおう。困っているけど、相談するのは恥ずかしい…。等々。本当に他人事でしょうか。私たち、何か大切なことを忘れていないのでしょうか。今回のシンポジウムでは、前半に、講師の先生により、ソーシャルワークよりみたり子ども・若者の貧困について話していただき、後半では、『今できることって何?』『みんな、つながろうよ!』をテーマに、パネリストや参加者のみなさんと共に語り合う井戸端会議を開催いたします。どうぞ、お気軽にご参加ください。

≪ 講演 ≫ 講師プロフィール

	<p>若宮 邦彦 氏 熊本市出身。アニメ「タイガーマスク」に感化され社会福祉を学ぶ。MSW(医療ソーシャルワーカー)、ケアマネジャー、地域包括支援センター ソーシャルワーカー等に従事。2011年タイガーマスク現象に後押しされ、南九州大学人間発達学部へ赴任。専門は「相談援助」「スーパービジョン」「ケアマネジメント」。都城市元気西岳ささえ隊隊員。みやざき子どもほほえみ基金事業検証委員。日本保育ソーシャルワーク学会常任理事。</p>
--	--

≪ シンポジウム ≫ パネリスト&コーディネータープロフィール

	<p>嶋田 喜代子 氏 東諸県郡国富町に5人姉兄の末っ子として生まれた私は、親姉兄の愛情に包まれ自然豊かな田舎ですくすく育った。卒業後東京の児童養護施設に就職し、お母さんの仕事・里親関係のケースワーカー、帰郷後は保育士、高齢者関係の在宅介護支援センター・地域包括支援センターで相談業務等、40年間福祉の仕事に従事。定年後、福祉現場で培ってきた経験・実績を活かしながら、H23年から宮崎市議会議員として活動中。</p>		<p>山元 絵美 氏 宮崎県出身。高校まで地元で学び大学進学のため埼玉県へ。大学では学校教育を専攻し同県で小学校教諭となる。主に都市部の学校で通常学級担任を経験。日ごろ、子ども達がつぶやく家庭や地域の様子に学校のみでは対応しきれない大きな課題を目の当たりにし、これがSSWを志すきっかけとなった。4年前、宮崎に戻り、九州保健福祉大学で社会福祉について学びながら小学校特別支援学級担任となる。今年度よりSSWとしての活動を始めた。</p>
	<p>富井 真紀 氏 一般社団法人日本プレミアム能力開発協会代表理事。生活困窮世帯やひとり親世帯を対象とした「プレミアム親子食堂」や「宮崎こども商店」などの支援活動を行っている。実子3人と夫の連れ子の計4人を育てた経験から子育てなどの相談事業にも取り組む。結婚後しばらくは家計に余裕がなく食事はおにぎり一つずつの時も。共働きと育児のストレスから子どもにあたることもあった。自身が幼少期貧困世帯で育ち父からのネグレクトや心理的虐待を受けた経験上、自分にできることとして生活困窮世帯の支援活動に取り組んでいる。</p>		<p>亀澤 克憲 氏 1950年熊本市生まれ。幼少の頃より日本全国を連れまわされ、根無し草の生活。1974年たまたま宮崎県職員に採用され、以来、宮崎県に住む。オーディオからパソコンに趣味が移り、2011年退職後、教育ICT支援を中心にしたNPO法人を立ち上げる。一昨年から活動の一環として「子供・若者の貧困対策と学習支援」に関わる。教育情報化コーディネーター。地域福祉コーディネーター。NPO法人みやざき教育支援協議会代表理事</p>

デザイン: 村井



会場

宮崎県福祉総合センター本館

宮崎市原町2丁目22番

駐車は整備員の指示に従ってください。

申し込み先 TEL/FAX 0985-41-445
メール info@npomesc.jp

子ども・若者の貧困を考えるシンポジウム 参加申込

お名前

所属等

ご連絡先(電話・メール)